

名古屋北部民商ニュース

発行：2025年5月26(月) No.620

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8114
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

民商の拡大は人助け、周囲に宣伝しよう！

新会員の参加も!!

5月16日(金)19時より、大宝寿司(会員の石田さんのお店)で、山田支部総会が開かれ、10人が参加。日本共産党の加藤ゆうきさんも来賓として参加しました。支部長の林さんの挨拶に続いて、会計報告、今後の活動の提案を行い、支部の役員体制と民商総会に推薦する常任理事、理事について相談。その後、美味しいお寿司を食べながら自己紹介。初めて参加した鈴木さんは、この間、調査後の税金の納付について、市税事務所と交渉した様子を発言。「市税は、本当にキツくて家族の病気のことなどを説明して、これだけしか払えないと言っているのに、差押えしかないと言う答えだった。国税は、2回自宅に来たが、月々可能な金額で払うことになったのに、市税の対応はひどかった」と語りました。鈴木さんの息子さんは、「調査のあと、悩んでネットで検索したが、民商がなかなかヒットしなかった。『差押え』と検索してやっと民商にたどり着いたので、グーグル検索で上位に出るようにしてほしい」と発言。その発言を受けて「税務調査や社会保険料滞納など、困っている業者は、たくさんいるはずなので、ネットでも見つけやすいよう、努力しよう」「民商歴60年の森川さんから入会1年未満の人まで参加して良かった」と話し合いました。



補助金申請についてマンツーマンで相談会

5月17日(土)午前10時から、先日出会したFさんの補助金申請について、白部青年部長と事務局で相談に乗りました。Fさんは、浄化槽の工事の仕事と、別の業種の会社も立ち上げていますが、今回目指す補助金は、浄化槽の方の法人の仕事用のパソコンソフトなどに対する補助金(中小企業デジタル活用支援補助金)を申請予定。この日は、Fさんが作成した事業計画を補助金申請に詳しい白部さんに見てもらい、アドバイスを受けました。事業計画を見た白部さんは、「まず、分量が少ないです。僕の時も、もっとたくさん書くように言われました」「たくさんライバルのなかで目立たないといけません」と話しました。そこで、Fさんの仕事について、じっくり聞くと「都市部では、下水道が整備されているが、過疎の土地などでは引き合いが多く、仕事がたくさんある。福島は、以前は1割だったが、震災後逆転して9割が浄化槽になっている」「全国的に上下水道の耐用年数が切れてきて、すべての職人が休まず仕事をしたとしても何百年もかかると言われており、今後も漏水事故が起きてくる。災害対策としても浄化槽は見直されている」と語りました。



白部さんは「そうした背景をエッセンスとして加えて肉づけしたらどうでしょうか」とアドバイス。また、必ず、その補助金のフォーマットがあるので、それを使うこと、また、各項目について質問に対する回答を適格にする

5/18 全県拡大統一行動に7人参加

5月18日(日)全県拡大統一行動が取り組まれ、名古屋北部民商は役員・事務局7人で、3区(守山区・北区・西区)のポイントで業者訪問とビラ配りに取り組みました。宣伝カーも運行。守山区では、小幡駅前に集合して、小塩会長・前田婦人部長、宮内常任理事のグループと安藤副会長、森理事、松原のグループに分かれて、営業中のお店にはパンフレットや宣伝紙を持って「こんにちは、民商です」と訪問。それ以外は「何でも相談会」のチラシをポストin。北区は黒川駅周辺、西区は浄心駅周辺に配布しました。「個人店が本当に少なくなったね」「日曜に営業しているのは美容院くらい」と話しながら、汗をかきつつ歩いてチラシを配りま